

輸出事業計画の認定を受けた者に対する関連事業の優遇措置

ソフト事業/ハード事業

※優先採択とは、審査に当たってのポイントの加算等

(令和4年度補正予算)

1 産地生産基盤パワーアップ事業（新市場獲得対策）（優先採択）

新市場のロット・品質に対応できる拠点事業者の育成に向けた貯蔵・加工・物流拠点施設等の整備、拠点事業者と連携する産地が行う生産・出荷体制の整備等を支援。

2 産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）（優先採択）

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等を総合的に支援。

ソフト事業

1 マーケットイン輸出ビジネス拡大緊急支援事業のうち

コメ・コメ加工品輸出推進緊急対策事業（優先採択）

コメ・コメ加工品の輸出拡大を図るため、①戦略的輸出事業者が、産地等と連携して取り組む海外需要開拓等の取組、②海外で外食・中食事業を展開する日系実需者が戦略的輸出事業者と連携し日本産米を採用するなどの新たな取組等について、新たな販路を開拓する取組に限定して支援。

2 輸出ターゲット国における輸出支援体制の確立緊急対策のうち

①海外向け戦略的サプライチェーン構築推進事業（優先採択）

物流や小売等のフードバリューチェーンに携わる複数事業者がコンソーシアム（共同事業体）を形成して実施する国内と有望な海外市場の間の物流・商流等のサプライチェーンを構築するための取組等を総合的に支援。

②水産物輸出拡大連携推進事業（優先採択）

生産・加工・流通・輸出等の水産バリューチェーン関係者が連携して輸出先国のニーズを捉えたモデル的な商流・物流の構築を行う際に必要となる費用を支援。

3 グローバル産地づくり緊急対策事業のうち

①加工食品クラスター緊急対策支援事業（優先採択）

地域の加工食品の輸出を促進し、地域経済の活性化に繋げるため、地域の中小食品製造業者、商社等が連携した取組のプロモーションや施設整備等を支援。

②国際的認証取得等支援事業のうち有機JAS認証、GAP等認証取得等支援事業（優先採択）

農業者等による有機JAS認証・GAP認証（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP等）の取得や輸出向け商談等を支援。

4 輸出環境整備緊急対策事業のうち

①輸出先の規制に対応した畜水産物のモニタリング検査支援事業のうち畜産物モニタリング検査加速化支援事業（優先採択）

輸出先国が求める畜産物の農薬、動物用医薬品等の残留物質モニタリング等の食品安全に係る検査に要する経費を支援。

4 輸出環境整備緊急対策事業 続き

②コメ・コメ加工品規制対策緊急対策事業（優先採択）

コメ・コメ加工品の海外需要開拓の加速化を図るため、中国向け精米輸出に必要なくん蒸等、海外規制等への対応のための取組等を支援。

③植物品種等海外流出防止緊急対策事業（優先的に支援）

我が国からの優良品種の海外流出・無断栽培等を防止するため、海外における品種登録に必要な審査費用（栽培試験等）を支援。

④海外模範品対策（優先的に支援）

海外における模倣品の監視を行うとともに、知財権の確立の提案、輸出を行う生産者等に対する侵害事例に応じた対策に係る提案等や現地における商標・地理的表示などの知財制度の内容、侵害対策の事例、運用実態等についての調査・報告の取組を行う。

5 食品産業の国際競争力強化緊急対策事業（優先採択）

①JAS・JFSの普及対策事業

食品安全レベルの向上及び輸出拡大に向けて、JFS規格の認証モデル実証や人材育成研修を支援。また、国際的な同等性を持つ有機JASについての認証モデル実証を支援。

②フードテックビジネス実証支援事業

食品事業者等によるフードテック等を活用したビジネスモデルの実証を支援。

6 国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策のうち

①木材製品等の輸出支援対策のうち輸出先国の規格・基準等に対応した性能検証等支援事業（優先採択）

輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検査・実証を支援。

②木材製品等の輸出支援対策のうち特用林産物の販売促進活動支援（優先採択）

特用林産物の輸出先国へのプロモーション活動等を支援。

7 担い手確保・経営強化支援事業（優先採択）

農産物の輸出に向けた取組など意欲的な取組により農業経営の発展を図ろうとする担い手に対し、必要な農業用機械・施設の導入を支援。